
ピースボート地球大学通信：第 54 号

2018 年 3 月 8 日発行

みなさん、こんにちは。日頃よりピースボートの活動にご協力、ご支援いただきましてありがとうございます。

『ピースボート地球大学通信』は、ピースボートが洋上でおこなっている平和教育活動や、陸上での関連活動について定期的にご紹介している通信です。お知り合いの方や学生さんに転送していただいても構いませんので、どうぞご活用ください。

=====

■ 今回の内容

- (1) 第 95 回クルーズ（2017 年 8 月出航）で実施した地球大学・地球大学特別プログラムの報告書ができました
 - (2) 2018 年夏期 地球大学の受講生を募集しています
 - (3) オセアニアをめぐる第 96 回クルーズが帰航、ICAN オーストラリアと共同で核廃絶を訴える活動を行いました
 - (4) ピースボートおりづるプロジェクト 2018 の参加ユースを募集します
 - (5) 書籍情報：『新版 核兵器を禁止する』『殺人口ロボットがやってくる!?!』
 - (6) ピースボートイベントのラインアップ
 - (7) メディアで紹介されたピースボートの活動
- =====

(1) 第 95 回クルーズ（2017 年 8 月出航）で実施した地球大学プログラムの報告書ができました

2017 年 8 月～11 月に実施した第 95 回ピースボート地球一周の船旅では、二つの「地球大学」を実施しました。地球一周を通して日本語で行ったプログラムへは、提携大学である神戸山手大学の観光文化学科の学生 7 名を含めた 33 名の若者が参加し、104 日間に及ぶ地球一周の航海を通して、アジアの歴史、中東の紛争地や難民の問題、南北アメリカの情勢など幅広いトピックを扱い、国際問題を「自分事」として理解を深めました。

横浜～ヤンゴンの区間で実施した 3 週間の地球大学「特別プログラム」へは、東京外国語大学や東京大学を始め、韓国の慶熙大学校、インドのジャワハルラール・ネルー大学などからも多数の学生が参加。11 カ国 36 名が「平和で包摂的な社会をつくる」をテーマに活発な議論を交わしました。

▼揺れ動く世界に触れて、ジブンゴトに —2017 年夏期 地球大学報告
<http://peaceboat.org/21778.html>

▼アジア 11 カ国 36 名で考えた「平和で包摂的な社会」～2017 年・地球大学特別プログラム報告～

<http://peaceboat.org/21704.html>

(2) 2018 年夏期 地球大学の受講生を募集しています

2018 年 9 月出航の「第 99 回ピースボート地球一周の船旅」(2018 年 9 月 1 日～12 月 18 日/横浜・神戸発着)で実施する地球大学の受講生募集を開始しました。今回は「誰一人取り残さない、持続可能な社会をつくる」をテーマに、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) のビジョンをふまえ、24 寄港地をめぐる中で、女性、子ども、障がい者、LGBT、先住民族など様々な人の権利について学び、多文化共生や多様性の尊重について考えます。学部・専攻を問わず、世界について知りたい意欲を持つ学生に、ぜひこのプログラムを周知していただければ幸いです。

▼詳細はこちらをご覧ください

<http://peaceboat.org/22417.html>

(3) オセアニアをめぐる第 96 回クルーズが帰航、ICAN オーストラリアと共同で核廃絶を訴える活動を行いました

今年 1 月に出航した第 96 回ピースボートオセアニア一周クルーズが 3 月 4 日 (日) に横浜へ、5 日 (月) に神戸へ帰航しました。このクルーズでは、2017 年ノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) オーストラリアと協力し、メルボルンやシドニーを含むオーストラリア 5 寄港地で核兵器廃絶を訴える証言会・イベント・アクションを行いました。被爆者で被団協の代表委員・田中熙巳 (たなかてるみ) さん、ユースの安藤真子さん、長谷川健一夫妻、ICAN 創設者のティルマン・ラフさん、先住民の方々も参加しました。

▼報告書はこちらからダウンロードできます

<https://goo.gl/w1RXue>

(4) ピースボートおりづるプロジェクト 2018 の参加ユースを募集します

昨年 7 月に国連で採択された核兵器禁止条約の早期発行を求めて、被爆者の証言を伝える「ピースボートおりづるプロジェクト」を、今年も、第 98 回 (5 月出航)、第 99 回 (9 月出航) の二回の地球一周の船旅で実施します。寄港する国々で原爆被爆の証言を伝えながら、各国に核兵器禁止条約の署名・批准を求めていきます。このプロジェクトに参加する被爆者、被爆二世、継承者の方々と共に、イベントの企画・実施や活動の発信に携わる

熱意あるユースを募集します。

▼詳細はこちらをご覧ください

<http://peaceboat.org/22652.html>

(5) 書籍情報：『新版 核兵器を禁止する』『殺人口ロボットがやってくる!?!』

ピースボート共同代表であり核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の国際運営委員である川崎哲の書籍が2冊出版されました。

『新版 核兵器を禁止する』は、2014年の旧版『核兵器を禁止する』に基づきながら、核兵器禁止条約の成立とICANのノーベル平和賞受賞後の課題を整理し、核兵器の非人道性から禁止条約までの概要と今後の課題について一冊の中に簡潔にまとめたものです。

『マンガ入門 殺人口ロボットがやってくる!?!』は、川崎とピースボートの畠山澄子の共著による、軍事ドローンとロボット兵器の入門書です。日本国内であまり知られていないこれらの問題を分かりやすく解説し、子どもから大人まで幅広く読んでもらえる内容です。ぜひ、ご活用いただければ幸いです。

▼岩波ブックレット『新版 核兵器を禁止する』が出ました！

http://kawasakiakira.at.webry.info/201802/article_4.html

▼「マンガ入門 殺人口ロボットがやってくる!?!」ピースボートスタッフが軍事ドローンとロボット兵器の入門書を出版しました

<http://peaceboat.org/22359.html>

(6) 3月のピースボートイベントのラインアップ

3月14日（水）『22歳の私が見た難民キャンプ ～気になったから行ってみた！ロヒンギャの今～』

3月28日（水）『This is me ～恋の相手は女の子～』

▼ 詳細はこちらをご覧ください

<http://peaceboat.org/event.html>

(7) メディアで紹介されたピースボートの活動

核兵器禁止条約や米国、日本の核政策に関する川崎哲の発言が報道されています。2018年2月の主な報道は以下のリンクからご覧になれます。

▼詳細はこちらをご覧ください

<http://peaceboat.org/22641.html>

地球大学通信 54 号：2018 年 3 月 8 日発行

発行者：ピースボート地球大学事務局

連絡先：univ@peaceboat.gr.jp

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

電話：03-3363-7561 Fax：03-3363-7562

ホームページ：http://peaceboat.org/home.html

フェイスブック：https://www.facebook.com/pbglobaluniversity/

※このメールマガジンへの感想・コメント、アドレスの変更、また、当通信が不要な場合などは、お手数ですが地球大学事務局(univ@peaceboat.gr.jp) までメールでご連絡ください。